

平成16年10月28日

各位

上場会社名 不二サッシ株式会社  
代表者名 取締役社長 嵯峨 明  
(コード番号 5940 東証第2部・福証)  
問合せ先 執行役員経理部長 宮武 憲二  
(TEL. 03-5745-1212)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年5月20日の決算発表時に公表した平成17年3月期の中間・通期の業績予想を下記のとおり修正させていただきます。

### 記

#### 1. 平成17年3月期(個別)中間業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成16年5月20日発表)	37,500	220	70
今回修正予想(B)	35,800	140	280
増減額(B-A)	1,700	80	210
増減率	4.5	36.4	300.0
前期(平成15年9月中間期)実績	37,649	728	265

#### 2. 平成17年3月期(連結)中間業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成16年5月20日発表)	60,000	250	50
今回修正予想(B)	56,200	110	120
増減額(B-A)	3,800	140	70
増減率	6.3	56.0	140.0
前期(平成15年9月中間期)実績	56,638	948	174

#### 3. 中間業績予想の修正理由

アルミ建材業界におきましては、住宅建築が微増ながら好調を維持しているなかで、住宅用建材品の需要が堅調に推移している一方で、当社の主力商品であるビル用建材品の需要はビル建築が増加しているにも拘わらず低迷状態をなかなか脱出できない横ばい状況で推移しております。

このような市場環境のもと、当社は、新商品などの販売促進に努める一方、契約適正化の推進および製造原価、運送費・人件費等のコストダウンに全社を挙げて取り組んでまいりました。

個別（当社）の業績につきましては、売上高はビル用建材品の需要低迷が大きく影響し、前回予想に比べて1,700百万円（4.5%）減の35,800百万円となる見込みですが、損益面では、売上減やアルミ地金価格の高騰によるマイナスをコストダウンで補い、利益を確保できる見込みであります。即ち、経常利益は前回予想に比べて80百万円減の140百万円、中間純利益は210百万円増の280百万円となる見込みであります。

連結の業績につきましては、主に個別（当社）の業績予想の修正に伴い、前回予想に比べて売上高は3,800百万円（6.3%）減の56,200百万円、経常利益は140百万円減の110百万円、中間純利益は70百万円増の120百万円となる見込みであります。

4. 平成17年3月期(個別)通期業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)  
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成16年5月20日発表)	86,000	1,890	1,000
今回修正予想 (B)	80,500	800	400
増減額 (B - A)	5,500	1,090	600
増減率	6.4	57.7	60.0
前期(平成16年3月期)実績	85,179	2,596	1,081

5. 平成17年3月期(連結)通期業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成17年3月31日)  
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成16年5月20日発表)	133,000	2,290	1,100
今回修正予想 (B)	123,000	1,100	500
増減額 (B - A)	10,000	1,190	600
増減率	7.5	52.0	54.5
前期(平成16年3月期)実績	125,460	2,918	1,101

6. 通期業績予想の修正理由

今後、当社は更なる合理化・総コストの削減などを図る一方、新商品による販売促進や手摺り等サッシ周辺商品・ビルリフォーム事業への取り組み強化など、売上増強・収益向上に努めてまいります。下半期も引き続き市場環境は厳しい状況が予想されるため、中間期までの業績を勘案し、上記のとおり個別および連結の業績予想を修正いたします。

以上